

## 図書館のサービスについて

【ご意見・ご要望】(投稿日:2021年4月15日)

現在吉田キャンパスの工学部の5図書館全てが閉室しており、KULINEからの置き置き予約サービスのみ利用できる状況です。私は本を直接探せることが図書館に行く大きなメリットだと考えているため、KULINEで本の題名のみを頼りに探すのは非常に不便ですし、より自分に合う本との出会いも失われているように感じます。

1. 現在閉室している理由は何でしょうか。桂図書館への資料移転の為に2月9日から4月上旬まで完全閉室するとサイトにありますが、開館日程を見ると4月の下旬まで閉室になっています。桂図書館への資料移転が終了していないからでしょうか。それとも新型コロナウイルスの感染対策によるものでしょうか。

2. 5月以降開室する予定はあるでしょうか。

3. 5月以降も開室しない場合、その理由は何でしょうか。工学部の図書館は附属図書館や吉田南総合図書館と比較して同時間の利用者数とその密度が非常に小さいと思います。また、理学部中央図書館は工学部図書館と同じほどの大きさですが、入退館を学生証のICで管理し、閲覧席の利用を制限するなどコロナ対策の労力を最小限にして開室しています。他の図書館が開室できて工学部図書館が開室できない理由も併せてお願いします。

以上の3つについてご回答をお願いします。

【回答】(回答日:2021年5月6日)

(回答部署:桂地区(工学研究科)事務部総務課)

ご意見ありがとうございます。

吉田キャンパスの工学部・工学研究科5図書室(以下、工学5図書室という。)の閉室により直接資料をご覧いただけなくなっていることにつきまして、長らくご迷惑をおかけしておりますことお詫びいたします。お尋ねいただいた点について以下の通りお答えいたします。

### 1.工学吉田図書室の現在の閉室理由について

工学5図書室は、昨年4月より新型コロナウイルス感染症対策として閉室し、建築系図書室のみを窓口とした資料置きサービスのみを提供しております。感染症の終息が見通せない状況において図書室を開室するにあたっては、接触感染のリスクを低減するため、閲覧席だけでなく利用者の方が触れる共有部分を毎日清掃消毒することが必要となります。工学

5図書室の職員は各図書室 1 名で勤務しており、これらの感染症対策が十分に行える状況にないとの工学研究科の判断のもと、工学 5 図書室の閉室および窓口を建築系図書室一つに絞っての工学5図書室所蔵資料提供サービスのみを行ってまいりました。

今回、2月9日から4月上旬までの期間でご案内したサービスの停止は、桂図書館への資料移転作業のため、建築系図書室を窓口とした資料提供サービスも停止する、というものでした。こちらについては3月末で移転作業が無事完了し、4月1日より資料提供サービスを再開しております。Web サイトの内容が誤っておりましたこととお詫びいたします。

4月1日以降も各図書室の閉室が継続しておりますのは、前述のとおり開室に必要な新型コロナウイルス感染症対策が職員配置の都合上十分に実施できないためです。ご要望にお応えできず申し訳ありません。利用者と関係者のみなさまの安全と健康を守ることを最優先としておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

## 2.および3. 5月以降の開室予定について

工学5図書室では、今年度より図書室の再編とそれに伴う移転作業を予定しております。これにより現在5室ある図書室が2室とラーニングcommonsに再編され、1図書室あたりの職員も2名以上での勤務体制となる予定です。

現在の体制では前述の感染症対策が十分に取れない状況であること、今年度からの図書室再編にかかる移転準備作業中であることから、少なくとも5月末までは閉室として資料提供サービスのみを継続して行います。仮移転などを含めた移転作業の進捗状況により、職員および感染症対策の実施体制が整った図書室から開室する予定です。再編後の図書室では資料も集約され、より多くの図書を手に取っていただけるようになる予定です。

今後の社会情勢、感染症に対する大学の方針などを踏まえながら図書室運営を進めてまいりたいと思いますので、どうぞご理解くださいますようお願いいたします。

なお、工学5図書室の移転、再編スケジュールについては、決まり次第「桂図書館・工学部・工学研究科図書室 Web サイト」(<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/lib/ja>)でご案内いたしますので、そちらもご確認ください。